

# 美具久留御魂神社の絵馬と朝鮮通信使

## 絵馬が奉納された背景と時代を探る

デジタル地図へのマッピング × デジタルアーカイブ資料

時空間を旅するストーリーテリング型教材

<https://tsushinshi-tondabayshi.glitch.me/>



SxUKILAM : Primary Source Sets / スキラム連携 : 多様な資料を活用した教材アーカイブ

### 美具久留御魂神社の絵馬と朝鮮通信使

絵馬が奉納された背景と時代を探る



**朝鮮通信使淀川御座船図絵馬** (富田林市文化財デジタルアーカイブよりCC BY)

富田林市指定文化財の第4号として、美具久留御魂神社（みくくるみたまじんじゃ）の「朝鮮通信使淀川御座船図絵馬」を令和4年5月26日付にて指定しました。大阪府の南東部に位置する富田林市と朝鮮通信使はあまり関連がないように思えるでしょう。当時の朝鮮通信使の日記や日本全国の資料を使って、この絵馬が奉納された背景と時代を考えていきます。

画面を下にスクロールしていきましょう！ よろしくお願いたします。

### 駅官 金指南の旅④

この日は豊前でも日が立つ日である。幸無事と分かれて豊前に入って、相互に舟を待つのを待たせながら、船乗りは日本人たちが船を待たせ、置いて置かない用意は、船乗りも言葉では言い表せない。「船中 集 談」(船中行録、より引用)



富田林市指定文化財「朝鮮通信使 美具久留御魂神社」デジタルアーカイブよりPDF転写

一行には5月26日に釜山に到着し、6月18日に対馬へ向けて出航するまで釜山に滞在しました。6月8日、金指南は向原とともに釜山にあった使館（日本人居留地）を見学しています。1678年に草湊に移転した使館の敷地は約10万坪に及び、対馬藩の人々が数百人滞在し、明治維新まで日朝交易の中心を担っていました。